

## 税を考える週間特別講演会

演  
題

「最近の財政と税務行政について」

講師 仙台国税局長 谷口眞司氏



## 創立 70 周年・社団化 50 周年記念講演会

### CONTENTS

- ▶ 創立 70 周年・社団化 50 周年記念講演会 … 2～3
- ▶ 創立 70 周年・社団化 50 周年記念式典 …………… 4
- ▶ 税に関する絵はがきコンクール入賞作品 …………… 5
- ▶ めざせ! 食品ロス ゼロ …………… 6
- ▶ 青年部会活動報告・法人会全国大会 高知大会 … 7
- ▶ 開催事業・新春講演会のご案内・セミナーのご案内  
…………… 8

 公益社団法人 盛岡法人会

### インターネットセミナーのご案内

ホームページから無料でセミナーがご覧いただけます。

<http://iwate-ho.jp/morioka/>

会員 ID : hj1301

パスワード : 4955

## 創立70周年・社団化50周年記念講演会

### 税を考える週間特別講演会

# 税務行政と国際情勢から今の日本を知る

11月19日（水）、ホテルメトロポリタン盛岡ニューウイングにて、盛岡法人会の創立70周年社団化50周年記念式典に先立ち、「税を考える週間特別講演会」が開催された。同講演会は盛岡法人会を含む7団体で構成される盛岡地区税務関係団体協議会が主催。国税庁は毎年11月11日～17日を「税を考える週間」とし、税務行政に関する公聴広報に取り組んでいることに合わせて行っている。今年は、仙台国税局長の谷口眞司氏と大阪大学特任教授の数中三十二氏が登壇。一般市民を含む約230名が聴講した。

### 【第一講座】

## 最近の税制と税務行政について



講師 谷口 眞司 氏

仙台国税局長 谷口 眞司 氏

わが国の財政は、歳出が税収を上回る状況が続いており、その差の多くを建設公債や特例公債などによって賄われている。2025年度（令和7）の歳出の33・2パーセントを占めているのが、医療や介護、年金、子育てなどの社会保障。1990年度（平成2）の17・5パーセントと比較すると、大きな伸びである。その主な理由として挙げられるのが、急激な高齢化と先進

国最下位という出生率の低さである。この動きは今後も続くと思われ、谷口氏は、社会保障について考えていかなければならないことを、さまざまなデータを提示して説明した。

税は、国民が健康で文化的な生活を実現するためにある。安心して暮らせる未来のために、税制負担と給付の関係についても国民一人ひとりが考えていかなければならないだろう。

後半はその税を徴収する国税庁の理念と使命について、近年の納税環境の整備、富裕層への適正課税と国際化への対応などについて話された。

現在、国税庁では納税者目線の徹底を意識し、スマートフォンやタブレット、パソコンなどから簡単に手続きを行うことができるインターネット環境構築（デジタル・トランスフォーメーション）に力を入れている。特にマイナンバーカードを利用したe-taxを推進しており、これによって確定申告をスムーズに行うことができ、さら



にe-taxによる口座振替などのキャッシュレス納付も可能である。このe-taxの利用者数は年々増えており、電子納税証明書の発行もe-taxを使用すると税務署への来所が不要となる。

そのほか、「納税者が厳正かつ公平な課税と納税が行われるために、AI分析を活用する動きが進み、今後も取り組んでいく」と話された。

## 【第二講座】

# 緊迫する国際情勢と日本外交

大阪大学特任教授 藪中三十二氏



講師 藪中 三十二 氏

世界の情勢とかけ離れたところに住んでいる」ことと、「世界の変化を起こしているのはアメリカのトランプ大統領である」ことに言及し、講演がスタートした。終始、分かりやすいスライドを使い、穏やかな口調で話され、ともすれば難しくなりがちな外交問題の話

にも関わらず、前のめりになって聴く参加者が多かった。

現在、国際情勢はこれまでの常識が通用しない世界になっており、国連の機能不全、多角的自由貿易体制の崩壊が起きているという。その一例として挙げられるのがロシアのウクライナ侵攻、アメリカのトランプ関税であるとし、その情勢を多角的に説明した。

講演のメインとなったのは、日本とアメリカ、中国の外交関係についてである。先頃の高市早苗首相の台湾有事発言について、中国は発言撤回を求め、日本への圧力を強めている。これに関連して、藪中氏は集団自衛権と個別自衛権の定義の詳細を説明し、「集団自衛権はアメリカが中国から武力行使を受けない限り自衛隊の出動はない」とし、「往々として報道はその説明が抜けている」と苦言を呈した。さらに、中国の南シナ海にて国際ルールを無視していることや尖閣諸島の問題、日中東シナ海ガス田合意にも触れつつ、日本と中国の外交関係のこれまでの経緯についても述べ、「実際に報道されていることと実態はかけ離れている」と話し、俯瞰的に見て考える大切さを強調した。

最後に、日本と日本人がいまなすべきことは、「日本自身の考えを明確にし、東アジアの平和と繁栄を築くこと

にある」といい、「そのためにもアメリカと中国の狭間で右往左往するのはなく、日本が東アジアの平和を創るリーダーとなること」と講演をしめた。



第二講座には、元外交官でTBS系列「サンデーモーニング」にコメンテーターとしてもおなじみの藪中三十二氏が登壇。藪中氏は、1969年（昭和44）に外務省に入省、韓国、インドネシア、米国在勤後、北米第二課長などを経て、在シカゴ総領事。2002年（平成14）よりアジア太平洋局長、外務審議官を経て2008年に外務事務次官に就任という、国際情勢と日本外交のエキスパートである。2010年（平成22）に退官し、現在は大阪大学特任教授を務めるかたわら、藪中グローバル寺子屋を主宰している。

冒頭に藪中氏は「日本は島国で、世

## 創立70周年・社団化50周年記念式典

### 70周年を経て、

### 一層の地域社会の貢献を誓う

盛岡法人会の創立70周年・社団化50周年記念式典が11月19日（水）、ホテルメトロポリタン盛岡ニューウイングにて開催された。来賓に谷口眞司仙台国税局長、達増拓也岩手県知事（代理・福田直総務部長）、内館茂盛岡市長を迎え、70年の歴史を振り返り、法人会が果たす役割の重要性を再度確認する貴重な会となった。

今年創立70周年、法人化50周年の節目を迎える盛岡法人会。1955（昭和30）年4月、前身である盛岡法人協会として創立され、盛岡地区の納税制度の確立に寄与し、企業経営と社会の健全な発展に貢献を目的に活動をスタートさせた。

浅沼晃会長は、事業活動において、小・中学生への租税教室、小学生を対象とした税に関する絵はがきコンクールの実施、自治体や国会議員への税制改正提言など、多彩な活動を行っていることを報告。

「ITやAIがこれまで以上に生活の中に浸透していくなか、人と人とのつながりはこれまで以上に必要性が高まっていくので、もっと強化なものにしていかなければならない。オピニオンリーダーとして企業の発展を支援し、地域の振興に寄与し、国と社会の

繁栄に貢献する経営者の団体としてよりいっそう充実した活動を展開していく」と、今後に対する決意を述べた。

その後は、発展に寄与した団体、元会長に感謝状が贈呈され、この20年の歩みのスライドが放映され、懐かしい写真に笑顔を見せる会員もいた。また、来賓の谷口眞司仙台国税局長、達増拓也岩手県知事（代理・福田直総務部長）、内館茂盛岡市長から祝辞が述べられた。

#### ■感謝状贈呈（敬称略）

〈保険協力会社〉

大同生命保険株式会社 きた東北支社

AIIG損害保険株式会社

アフラック生命保険株式会社

〈事務局委託商工団体〉

協同組合盛岡卸センター

滝沢市商工会

#### 〈元会長〉

八幡平市商工会  
矢巾町商工会  
雫石商工会  
岩手町商工会  
盛岡商工会議所  
第6代会長 熊谷祐三氏  
第7代会長 高橋真裕氏



高橋真裕 元会長



熊谷祐三 元会長



保険協力会社の皆様



事務局委託商工団体の皆様

# ぜいかん 税に関する 絵はがきコンクール

令和7年度  
入賞作品



入賞作品はこちら

岩手県連会長賞



盛岡市立仙北小学校  
及川 花穂さん

岩手県連女連協会会長賞



矢巾町立徳田小学校  
熊谷 心海さん

法人会女性部会では、租税教育事業の一環として、小学7年生を対象に「税に関する絵はがきコンクール」を全国的に実施しています。

令和7年度は、盛岡市、滝沢市、雫石町、葛巻町、岩手町、紫波町、矢巾町の24小学校から575作品の応募がありました。

このほかの入賞作品は、盛岡法人会ホームページに掲載しています。

<http://iwate-ho.jp/morioka/>

盛岡法人会会長賞



盛岡市立大慈寺小学校  
八重樫 花さん

盛岡法人会  
女性部会長賞



盛岡市立大慈寺小学校  
藤村 のどかさん

盛岡税務署長賞



矢巾町立煙山小学校  
櫻桃 真子さん

盛岡地区租税教育  
推進協議会会長賞



盛岡市立上田小学校  
土井尻 千紗さん

学校奨励賞



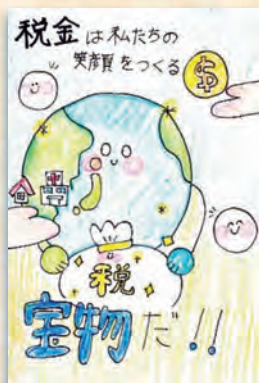
盛岡市立大慈寺小学校  
伊藤 怜叶さん

学校奨励賞



盛岡市立仙北小学校  
千葉 愛来さん

学校奨励賞



紫波町立紫波東小学校  
八重畑 未咲さん

岩手日報社長賞



盛岡市立土淵小学校  
川村 姫子さん

◆主催：(公社) 盛岡法人会女性部会 (公財) 全国法人会総連合

◆後援：国税庁

## めざせ！ 食品ロス ゼロ

できることから始めてみよう！



## 宴会の食べ残しをなくす 3010（さんまるいちまる）運動

食品ロス問題ジャーナリスト 井出 留美

ブルに置いておく効果があります。

ご存じの方もいらっしゃると思いますが、法人会の女性部会も食品ロス削減に積極的に取り組んでいて、つい最近、啓発ツールとして三角柱POPを作りました。法人会の宴会や懇親会は、会員どうしで交流するのが主な目的であることや、立食形式も多いことから、時間を「15分・10分」と、「3010」より短めに設定したそうです。三角柱POPは法人会事務局に頼めばもらえるそうですので、お勤め先の宴会などでの活用も、ぜひ検討してみましょう。

京都市は、宴会の時、お開きの前に幹事が「料理を食べ切りましょう」と声がけした場合と、声がけしなかった場合とで、どれくらい食べ残しの量が違うか、実証実験をおこないました。その結果、声がけることで食べ残しが4分の1まで減ることがわかりました。声をかけるだけならお金はかかりませんね。

立食パーティーの時には、用意する料理の量を参加者の7がけくらいにするとういこと言われます。先日、大学の立食パーティーに参加したところ、お開きの前になっても料理がたくさん残っていました。一緒に参加していた男性に「もったいないですね」と話しかけたところ、その方も別のイベントで毎回、宴会の食べ残しを減らすのに苦慮しているとのことでした。その方は弁護士で、イベントの参加者は高齢男性が多く、参加者の7がけにしてみても余るし、つまんで食べられるフィンガーフードにしても余るし、どうしたらいいかと悩んでいました。日本の場合は名刺交換の機会も多く、乾杯の時にはグラスを手に持ち、その上、お皿とフォークまで一度に持つことができないので、どうしても余ってしまいがちかもしれません。思い切って、料理の

量はぐんと少なく抑えてもいいのかもしれないね。イタリアの街、トリエステで入ったレストランでは、パンは最初から茶色い紙袋に入ってテーブルに置かれていました。おなかがいっぱいだったならそのまま持ち帰ります。

日本では、環境省の主催で食べ残しを持ち帰るドギーバッグの愛称コンテストが実施され、mottECO（モッテコ）に決まりました。「持つて帰ろう」と「もつとエコ」のメッセージが込められています。環境省の公式サイトではmottECOをダウンロードすることもできます。

宴会の幹事になった方は、3010の啓発ツールやmottECOを準備してみるのはいかがでしょうか。

### ＜参考情報＞

「3010運動普及啓発用三角柱POPダウンロード（環境省）」  
<https://www.env.go.jp/recycle/food/3010pop.html>

「mottECO（モッテコ）ダウンロード（環境省）」  
<https://www.env.go.jp/recycle/food/motteco.html>

【筆者紹介】井出留美（いで・るみ）  
奈良女子大学食物学科学卒、博士（栄養学／女子栄養大学大学院、修士（農学／東京大学大学院農学生命科学研究科。ライオン、青年海外協力隊、日本ケロッグ広報室長等歴任。東日本大震災食料支援での廃棄に衝撃を受け、(株)office 3.11を設立。食品ロス削減推進法成立に協力した『賞味期限のウソ』（幻冬舎新書）、「捨てないパン屋の挑戦」（あかね書房）など著書多数。

## 今日からできる食品ロス削減術 ～余ったおせち料理のアレンジレシピ～

【監修】料亭駒龍  
料理長 岡村良一氏



### 【黒豆ぜんざい】

材料 つぶあん100g 水100cc 黒豆60g  
塩 ひとつまみ 餅（お正月の余り）

- ①つぶあんと水を混ぜます。
- ②黒豆を少し包丁で刻み①に入れて塩を加えて火にかけます。
- ③餅は焼いておきます。
- ④餅を器に入れて②をかけて完成です。

### 【黒豆ゼリー】

材料 黒豆 適量 栗もあれば混ぜます  
水200cc 砂糖80g 粉ゼラチン7g

- ①ゼラチンは水でふやかしておきます。
- ②黒豆は少し刻みます。
- ③水に砂糖を入れて溶かしながら火にかけます。黒豆を入れて少し沸かします。
- ④ゼラチンを入れて火を止めます。このあと火を入れないでください。
- ⑤器に流して完成です。

### 【数の子とほうれん草の和え物】

材料 数の子 適量 ほうれん草 1束  
めんつゆ 適量 かつお節 10g

- ①ほうれん草は水で洗い塩ゆで後、一口大にカットします。
- ②数の子を少し刻みます。
- ③ボウルにほうれん草と数の子を入れ、めんつゆで味を整えかつお節を加えます。
- ④器に盛りつけて完成です。

# 青年部会活動報告

## 第39回全国青年の集い 山梨大会

開催日：令和7年11月20日～11月21日 場所：アイメッセ山梨 参加者：8名

### 人は石垣 人は城 ～光り輝く未来のために～

11月20日(木)、21(金)、全法連青連協主催「全国青年の集い」が山梨県で開催されました。スローガンには、「立派な城などより大切なものは人であり、絆である」という考えから、全国の法人会の活動が輝くことで、将来を担う子供たちの光り輝く未来につながる大会にしたい、という思いが込められています。

全国大会では、メインの事業として、「健康経営大賞」と「租税教育活動プレゼン大賞」の発表があります。審査の結果、健康経営大賞では、神奈川県連の緑法人会が選ばれました。横浜市の中小企業と連携し、健康経営支援プロジェクト「みどりウェルネクション」を開始し、健康をキーワードにした学びや交流の場を提供し、地域全体のウェルビーイングの向上を目指す取組を発表しました。また、租税教育活動プレゼン大賞では、佐賀県連の鳥栖法人会が選ばれました。限りある税金からより良いまちを創るために、不登校の児童生徒向けに会員事業所を活用して租税教室を開催していることなどを紹介しました。記念講演会では、(株)ヴァンフォーレ山梨スポーツクラブの佐久間悟社長から、スポーツを通じた地域連携と健康経営の最前線を語っていただきました。翌日のゴルフエクスカースションも参加し天候に恵まれ、学びと交流で絆を深める機会となり、とても充実した全国大会でした。来年は島根大会となりますので、たくさんのご参加をお待ちしております。

盛岡法人会 青年部会長 大泉勝嗣



入口前で記念撮影



エクスカースションのゴルフコンペ

### 租税教室

開催日：令和7年12月11日  
会場：岩手町立川口中学校 3年生25名  
参加者：4名



川崎厚生委員長の税金クイズ

開催日：令和7年10月14日  
会場：盛岡市立城東中学校 3年生44名  
参加者：7名



授業開始のあいさつ

### いなせの秋

開催日：令和7年10月7日  
会場：ホテルニューカリーナ  
参加者：26名



集合写真

### 健康経営セミナー

開催日：令和7年10月7日  
会場：ホテルニューカリーナ  
参加者：25名



講師の岩手県保健福祉部健康国保課 千葉典子氏

## 第41回法人会全国大会（高知大会）が開催されました

第41回法人会全国大会が10月16日に高知県立県民文化ホールで開催されました。全国から約1,600名の会員が集まり、岩手県連からは12名、うち盛岡法人会からは久慈副会長と柳田専務理事が参加しました。

第1部の記念講演の前にウェルカムイベントとして、色鮮やかで仕掛けのある衣装による「よさこい鳴子踊り」が披露され、大いに盛り上がりしました。記念講演では「変化の時代の経営、危機をチャンスに」と題し、元ローソン・ジャパン社長の都築富士男氏が倒産の危機にあったローソンを再建したことなど、危機をチャンスと捉えた数多くの事例を紹介しました。

第2部の式典では、高知県連副会長の歓迎の挨拶で始まり、国税庁長官、高知県副知事、高知市長による来賓挨拶があり、その後会員増強、研修参加率向上、福利厚生制度推進の各部門の表彰がありました。続いて全法連税制委員長から令和8年度税制改正提言の報告や青年部会による租税教育活動・健康経営取組の事例発表などが行われました。

大会宣言では、「金利のある世界」への回帰を受けて、国債の利払い費の増加が財政を圧迫しかねないことから、財政健全化は国家的課題であり、本格的な歳出・歳入の一体的改革を進めることの重要性を訴えるとともに、日本経済の礎である中小企業の活性化を促進するため、「中小企業の活性化に資する税制措置」、「事業承継税制の拡充」等の実現を強く求めました。



(左) 久慈竜也副会長  
(右) 柳田修専務理事

# 開催事業

## 経営セミナー

開催日：令和7年10月17日  
講 師：野澤 直子氏  
(社会保険労務士 産業カウンセラー)  
演 題：業務改善助成金とは  
出席者：8名



## 中小企業セミナー

開催日：令和7年10月24日  
講 師：塩野 貴之氏  
(塩野貴之税理士事務所 代表)  
演 題：税制改正・実務のポイント  
出席者：33名



## 年末調整説明会

開催日：令和7年11月12日  
講 師：川井 隆史氏  
(かわい公認会計士・税理士事務所所長)  
演 題：年末調整実務のポイント  
出席者：48名



## 経営セミナー

開催日：令和7年12月3日  
講 師：内山 美香 (voice forward 代表)  
演 題：マインドフルネス 脳のトレーニングセミナー  
出席者：8名



## 決算説明会

開催日：令和7年12月12日  
講 師：石川 潤平 氏 (盛岡税務署)  
演 題：会社の決算・申告の義務  
出席者：7名



## 安代支部総会

開催日：令和7年10月20日  
会 場：新安比温泉清流閣  
出席者：22名



## 盛岡法人会 創立70周年 社団化50周年 記念講演会

# 心で走る ～箱根駅伝のエースから マラソンリーダーへ～

【講師】  
(株)ディー・エヌ・エー フェロー  
DeNA ランナーズアカデミー育成アドバイザー

せ こ とし ひ こ  
**瀬古 利彦 氏**

### 【講師プロフィール】

トラック・駅伝のみならず、国内外のマラソンで圧倒的な強さを誇る。現役引退後は指導者の道に進み、オリンピック選手を3名輩出するなど後進の育成に注力。16年より日本陸連マラソンリーダーとしてマラソングランドチャンピオンシップ設立に奔走。

現在はDeNA フェローとして活躍中。全国のランニングイベントでのゲストとしてマラソンの普及に努めている。

日 時 **令和8年 2月 4日(水)**  
**14:00～15:30**

会 場 **ホテルメトロポリタン盛岡  
NEW WING**

定 員 **150名**

申込先 **公益社団法人 盛岡法人会**

1月23日(金)までに事務局へお申込みください。

